

## 2 策定プロセスへのかかわり

都市計画マスタープラン策定には、市民参加が不可欠です。そのためには、参加の仕組みづくりが大切です。そして、その仕組みには、参加の前提としての、策定者である行政の情報公開が必要です。策定を進める各段階で、常に情報を開示し、いつでも進行状況を示すことで、私たちは、私たちの提言が反映されているかを、いつも確認することができます。また、反映できない場合は、その理由を示してほしいと思います。

地区別構想づくりでは、市民参加の機会をより一層拡大すべきです。その参加は計画の策定段階から始めることが必要です。そして、参加の形はインターネットを利用して幅広く意見を集めたり、モニター制度での行政との意見交換など多種多様な方法が考えられます。私たちは、そうした機会を通して常に策定の進行にかかわり、市民と行政の協働による都市計画マスタープランづくりをしたいと思います。